

引用文献

- 阿部美佐子(2013).看護師間の価値観の相違へのかかわり.日本クリティカルケア看護学会.
江川幸二,山勢博彰.クリティカルケア場面での問題解決ガイド(第1版).三輪書店,233-237.
- Deborah,G.K (2007).From Novice to Expert CNS Competencies. Mary G. McKinley(Ed.)*Acute and Critical Care Clinical Nurse Specialists Synergy for Best Practices*. (pp11-28). 49-60.St.Louis.SAUNDERS ELSEVIER.
- Donald,A.S.(1983).省察的実践とは何かプロフェッショナルの行為と思考.柳沢昌一,三輪健二(2009).鳳書房.3-77.
- 江川幸二 (2013).倫理とは,倫理調整とは何か 倫理調整.日本クリティカルケア看護学会監修.クリティカルケア場面での問題解決ガイド(第1版),三輪書店,5-6.
- 藤原香,喜多村久絵(2012).小児看護における専門性 小児看護専門看護師との協働から病棟(外来)看護師が学ぶもの 病棟看護の道しるべとして.小児看護,35(13),1713-1717.
- 後藤順一(2013).脳死患者の臓器提供に戸惑う家族.日本クリティカルケア看護学会.江川幸二,山勢博彰.クリティカルケア場面での問題解決ガイド(第1版).三輪書店,153-158.
- 早川昌子(2005).専門看護師(CNS)のいま CNS の具体的な活動 病棟での活動,臨床看護,31(11),1605-1610.
- 東めぐみ(2011).看護リフレクション入門.ライフサポート社.28-52.
- 飯田沙織(2008).ICU において家族に対し看護師が体験する倫理的ジレンマ—延命治療に関する意思決定を行った家族の場合—.日本看護学会論文集：精神看護,39,38-40.
- 稲谷理沙,田中真弓,磯本暁子他(2006).ICU での看取りと死を迎える患者・家族に対する看護師の思いの分析.日本看護学会論文集：成人看護Ⅰ,37,128-130.
- 伊勢田暁子,井上智子(2003).延命治療に関わる家族の意思決定.野嶋佐由美,渡辺裕子.家族看護.日本看護協会出版会.1(1),48-54.
- 柏木夕香(2009).専門看護師制度とがん看護専門看護師の活動.新潟がんセンター病院医学雑誌,48(1),19-23.
- 片平好重,宇佐美しおり,福田紀子他(2004).精神看護専門看護師の直接ケア技術の開発および評価に関する研究.看護,56(2),84-87.

- 北別府考輔,高見沢恵美子(2013).クリティカルケア領域における代理意思決定に対して専門看護師が行う倫理調整.日本クリティカルケア看護学会誌,9(2),127.
- 樽松久美子,伊藤真理,栗原早苗他(2013).ICU 終末期患者への急性・重症患者看護専門看護師の倫理調整の実際:第 2 報生命維持装置中止に関する 3 事例.日本クリティカルケア看護学会誌,9(2),124.
- 菊地昭江(2013).専門看護師(CNS)における職務上の自律性測定尺度の開発.国際医療福祉大学学会誌,18(2),22-35
- 小迫富美恵(2005).専門看護師(CNS)のいま 各分野での CNS の活動アウトカム がん看護;がん看護専門看護師の疼痛マネジメント,臨床看護,31(11),1617-1621.
- 栗原早苗,伊藤真理,樽松久美子他(2013).ICU 終末期患者への急性・重症患者看護専門看護師の倫理調整の実際:第 3 報積極的治療選択を調整した 2 事例.日本クリティカルケア看護学会誌,9(2),125.
- 前田正一(2012).臨床倫理の基礎.ICU と CCU,36(9),2012
- Martha, M.C.(2007).The synergy model :From theory to practice.In M.A.Curley(Ed).
Synergy:The Unique Relationship between Nurses and Patients.Indianapolis,Sigma Theta Tau International.1-23.
- 本山清美(2007).外来がん化学療法におけるがん看護専門看護師の役割.医学のあゆみ,222(13),1160-1165.
- 長戸和子(1999).家族の意思決定.臨床看護,25(12),1788-1793.
- 日本救急医学会,日本集中治療医学会,日本循環器学会(2014).救急・集中治療における終末期医療に関するガイドライン .<http://www.jsicm.org/pdf/1guidelines1410.pdf> [2015-01-27]
- 日本集中治療医学会(2011).集中治療領域における終末期患者家族のこころのケア指針.
<http://www.jsicm.org/pdf/110606syumathu.pdf> [2015-01-27]
- 日本看護協会 <http://nintei.nurse.or.jp/nursing/qualification/cns> [2015-01-27]
- 能芝範子(2013).治療中止を訴える家族.日本クリティカルケア看護学会.江川幸二,山勢博彰.
クリティカルケア場面での問題解決ガイド(第 1 版).三輪書店,159-166.
- 野末聖香,宇佐美しおり,福田紀子他(2004).精神看護専門看護師によるコンサルテーションの効果,56(3),70-75.

- 小川尚子,田中祐,洪淑姫他(2007).救急医療における倫理的問題についてー臨床倫理検討会の取り組みー.日本臨床救急医学会雑誌,10(1),52-60.
- 大江理英 (2013).家族のサポートがない患者.日本クリティカルケア看護学会.江川幸二,山勢博彰.クリティカルケア場面での問題解決ガイド(第1版).三輪書店,198-204.
- 大谷典生,石松伸一(2007).当院救急センターICUでの末期医療の現状.日本集中治療医学会雑誌 14(2),171-176.
- 岡本充子(2012).老人看護 CNS の活動の広がりとは将来展望 急性期病院における老人看護 CNS として"つながり"を大切に.老年看護学,16(2),7-10.
- 志村央子(2003).臨床看護師の倫理的問題への対処行動に影響を及ぼす要因.神奈川県立看護教育大学校 看護教育研究集録,28,33-40.
- 関谷陽子,大西和子,辻川真弓(2012).がん看護専門看護師によるがん看護に携わる看護師への支援内容-看護師への面接調査から-.三重看護学誌,14,41-53.
- 多田昌代(2013).主治医と看護師の方針の対立.日本クリティカルケア看護学会.江川幸二,山勢博彰.クリティカルケア場面での問題解決ガイド(第1版).三輪書店,220-224.
- 高見沢恵美子(2013).クリティカルケア領域における患者・家族の倫理的課題 患者・家族の倫理的課題と看護介入.日本クリティカルケア看護学会.江川幸二,山勢博彰.クリティカルケア場面での問題解決ガイド(第1版).三輪書店,52-61.
- 高野里美(2002).ICU(集中治療室)の終末期ケアを困難にする要因.死の臨床,25(1),78-84.
- 武村雪絵(2014).コンピテンシー・モデルと看護管理.東京大学医学部附属病院看護部,東京大学医科学研究所附属病院看護部.看護管理に活かすコンピテンシー(第1版).2-6.
- 田村由美,津田紀子(2008).リフレクションとは何か その基本的概念と看護・看護研究における意義.看護研究,41(3),171-181.
- 竹安良美,櫻井絵美,荒木智恵他 (2011).救急看護師が危機的状況にある患者とその家族の関わりで抱く困難感.日本救急看護学会誌,13(2),1-9.
- 谷島雅子,中村美鈴(2013).DNAR(Do Not Attempt Resuscitation)を選択した入院患者の家族に対する救急看護師の実践.自治医科大学看護学ジャーナル,11,5-13.
- 立野淳子(2013).終末期患者と家族.日本クリティカルケア看護学会.江川幸二,山勢博彰.クリティカルケア場面での問題解決ガイド(第1版).三輪書店,146-152.
- 戸田美和子(2014).若年拡張型心筋症の末期心不全における倫理調整の実際,倉敷中央病院年報,76,171-175.

- 上澤弘美,中村美鈴(2012).初療で代理意思決定を担う家族員への関わりに対して看護師が抱える困難と理由.日本クリティカルケア看護学会誌,9(1),6-18.
- 梅田恵(2007).がん患者の継続医療-病院から地域へ-地域連携・継続医療におけるがん看護専門看護師の役割.癌と化学療法,34,189-192.
- 梅田恵(2013).「がん看護専門看護師のコンサルテーション」についての概念分析.日本がん看護学会誌,27(2),47-55.
- Urakawa,K.,Onishi,K.,Sato,T. et al.(2004).Ethical Dilemmas Faced by Nurses: Patient Self-determination in ICU.三重看護学誌 ,6,9-15.
- 宇佐美しおり(2003).精神看護専門看護師の現状と課題.インターナショナルナーシングレビュー,26(3),30-34.
- 宇佐美しおり,野末聖香,片平好重(2005).各分野での CNS 活動のアウトカム 精神看護専門看護師の活動成果に関する研究 直接ケア技術とコンサルテーションの機能に焦点をてて.臨床看護,31(11),1622-1631.
- 渡辺晴樹(2003).コンピテンシーの理解と活用 コンピテンシーの基本理解 コンピテンシーとは.看護展望,28(1),88-91.
- 渡辺裕子(2005).生命の危機状態にある患者家族をケアする看護師のジレンマ.家族看護.日本看護協会出版会 3(2),12-18.
- 山本小奈実(2013).家族間での意思の相違.日本クリティカルケア看護学会監修.クリティカルケア場面での問題解決ガイド(第 1 版),三輪書店,205-210.
- 山本美子(2012).生命の危機にある患者の代理意思決定における熟練看護師の取り組み.神奈川県立保健福祉大学実践教育センター看護教育研究集録 教員・教育担当者養成課程コース,37,258-263.
- 安田妙子(2006).精神看護専門看護師のコンサルテーションにおける援助内容-ナースのインタビュー調査から.精神科看護,33(1),49-56.
- 吉田紀子,中村美鈴(2014).クリティカルケア熟練看護師が見出した延命治療に関する家族の代理意思決定を支える看護実践.日本救急看護学会誌,16(2),1-12.
- 吉岡佐知子(2012).老人看護 CNS 活動の広がりとは将来展望 高齢者の意思の尊重 急性期医療機関における倫理調整.老年看護学,16(2),11-16.